

第2号様式（第3関係）

令和元年度第3回豊山町子ども・子育て会議議事録

- 1 開催日時 令和元年12月23日（月）午後2時～午後3時30分
- 2 開催場所 豊山町役場2階 会議室1
- 3 出席者
 - (1) 委員 8名
堀田裕子、野崎千佳、大野真由子、中西正司、山本佐知子、坪井貞子、
村瀬三恵子、坪井弘美
※欠席者：2名 今野真紀、石黒善美
 - (2) 事務局
生活福祉部長 堀尾政美、福祉課長 牛田彰和、指導保育士 小辻紀代美
子育て支援係主査 森川泰成、子育て支援係主任 杉浦俊介
 - (3) コンサル業者
Next-i 株式会社 安村真也
- 4 議題
 - (1) 第2期子ども・子育て支援事業計画案について
 - (2) パブリックコメントの実施について
 - (3) その他
- 5 会議資料
資料1：第2期豊山町子ども・子育て支援事業計画案
資料2：パブリックコメントの実施について
- 6 議事内容

司 会	ただ今から、令和元年度第3回子ども・子育て会議を開会します。 本日の司会進行をさせていただきます、福祉課長の牛田です。よろしく お願いします。 まず始めに、本日、今野委員、石黒委員から欠席の連絡をいただいておりますのでご報告させていただきます。
司 会	続きまして、本日の配布資料の確認をさせていただきます。 配布資料の確認 次に、審議会等の議事録についてお話をさせていただきます。 町では、情報公開の一環として、平成20年10月から審議会や委員会 等の議事録を、町のホームページに掲載することになっております。

	<p>本会議もその対象になり、どのような論議がされたか、要旨を抜粋して、議事録をホームページに掲載させていただきます。</p> <p>掲載について、ご承認いただけますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">異議なしの声</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>また、議事録の内容につきましては、委員の皆様の確認が必要となります。</p> <p>後ほど、会長から議事録署名委員が指名されますので、指名されました2名の方と会長の3名で、議事録の内容を確認することになります。</p> <p>それでは、これからの審議会の議事進行については、中西会長にお願いします。</p>
会 長	<p>それでは、ただ今から、議事の進行をさせていただきます。</p> <p>まず始めに、議事録署名委員の指名ですが、山本佐知子委員と坪井貞子委員を指名します。</p> <p>議事録の署名については、事務局が本日の議事録を作成後、署名のお願いに伺いますので、よろしくお願いします。</p>
会 長	<p>次第に従いまして、次第の2（1）「第2期子ども・子育て支援事業計画案について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	資料1に沿って説明
会 長	<p>説明が終わりました。</p> <p>委員の皆さんからご意見・ご質問がありましたら、いただきたいと思えます。</p>
委 員	<p>計画素案を非常に分かりやすくまとめていただいていると思います。</p> <p>児童センターやなかよし会について、職員の方は資格を持った方が採用されていると思います。時代の変化や子どもの人数、子どもたちの毎日の状況等について、1年に1度、職員の方を対象とした研修を実施していただきたいと考えています。</p> <p>基本的なことは分かっておられますが、改めて現状に合った研修をやっていただくと、子どもたちもより来やすくなるのではないかと思います。</p> <p>小学生に対する接し方を専門家等に教えていただく等、回数は多くなくても良いのですが、改めてどうやって接したら良いのかを頭と身体に入れていただきたいです。</p> <p>子どもと接していると、子どもは毎日毎日違うため、どうしても感情が出てしまいます。そこをどのように接していけば良いか、子どもをより成長させていくためにはどうしたら良いかを学ぶ機会が必要だと思えます。</p>
事務局	<p>職員向けの研修会の開催を検討していきます。</p>
委 員	<p>この計画をもっと良い方向に進めていくためには、職員向けの取り組みも必要ではないかと思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。他にご意見ありますでしょうか。</p>
委 員	<p>子どもの貧困について、対象や定義を教えてください。</p>
事務局	<p>例えば、事業の一つに「学習支援の充実」がありますが、この支援の対</p>

	<p>象として示されているのは、生活保護受給世帯、生活困窮者自立支援相談機関で相談支援を行った世帯等です。</p> <p>例えば県の相談員に生活の自立支援を相談された世帯、ひとり親手当を受給している世帯等で、生活面について相談を受けた世帯が対象になっています。現在、学習支援事業については、豊山町から12名の方が利用されています。</p>
委員	<p>どのようなことをされるのですか。</p>
事務局	<p>県が学習塾のトライに委託して事業を実施しており、勉強を教えることが主な内容です。将来的な部分を見据えて学習面を支援することで、貧困から脱するための事業として県が進めています。</p> <p>一律に同じ支援をすると、付いて行けないお子様もいらっしゃるのでは、それも踏まえ、子どもに合わせた支援を行っています。</p> <p>線引きが難しいところでもありますが、貧困という問題上、表には出しにくいので、個別に声掛けをしながら進めています。</p>
委員	<p>少子化が進む等が書かれていますが、どのように出されているのでしょうか。</p>
コンサル業者	<p>70ページに書かせていただきましたが、人口推計には様々な算出方法がある中で、コーホート変化率法という方法を用いています。</p> <p>今回は、豊山町の住民基本台帳に登録されている人口を過去5年間、平成26年度から平成30年度の3月末日現在のデータを基に、各歳の人人口の変化率を4区間で算定し、その平均を採ります。</p> <p>その変化率を、平成30年度時点の人口を起点に、その変化率を当てはめて、令和2年度以降の人口を算出しています。</p> <p>平たく言えば、過去の実績を基に人口推計をしています。</p>
委員	<p>結婚等でもっと増えるかもしれないし、もっと減るかもしれない、ということは分からないのですか。</p>
コンサル業者	<p>今回使用している変化率法については、住民基本台帳に登録されている人口だけを見て人口の変化を出しています。</p>
委員	<p>ここ数年来の傾向を当てはめているということなののでしょうか。</p>
コンサル業者	<p>そうです。この傾向を数値化して割合として算出し、当てはめていくということになります。</p>
委員	<p>未婚等が進むと、もっと減るかもしれないということなののでしょうか。</p>
コンサル業者	<p>それについては判断が難しいです。</p> <p>人口推計の方法には別の方法もありますが、この計画は5年という比較的短期間の計画であるため、変化率方法を採用しています。</p> <p>例えば市町の総合計画の場合は、国勢調査による人口をベースに、今後の転入と転出を推計して当てはめる方法を採用しています。</p> <p>しかし、国勢調査は5年に1度なので、長期的なものになり、この計画のように短期間の計画で使用すると、乖離が出てしまう可能性があります。そのため、一番直近の人口データが分かる住民基本台帳を用いて人口推計を行っています。</p>

会 長	ありがとうございました。他にご意見ありますでしょうか。
委 員	<p>子ども食堂について、立ち上げ当初は子どもの貧困のための食堂であると伺っていましたが、進めていくうちに少しずつ内容が変わっているように感じます。今だと地域の方々が集うためのもので、貧困のためではないという説明を受けます。</p> <p>もしこれで行政からお金が出るとしたら、それは違うのではないかと思います。子ども食堂として活動しているのかを確認する機関や、チェックする機能はないのでしょうか。</p>
事務局	<p>行政から子ども食堂に対する支援は、広報紙への開催日の掲載等であり、金銭的な支援は行っていません。</p> <p>子ども食堂は2か月に1回開催されています。元々、出発点としては子どもの貧困対策ですが、貧困だけではなく、子どもが一人でご飯を食べているという状況の改善や、地域とのつながり等まで広げて事業を展開しています。</p>
委 員	だとすると、子ども食堂という名前からは離れてしまうのではないのでしょうか。本当に貧困状態にある子どもが利用できているのでしょうか。
事務局	<p>非常に難しい問題で、先ほどの学習支援とも重なる部分になりますが、貧困と言ってしまうと利用しにくくなってしまうので、門戸を広げながら実施しているというのが現状です。</p> <p>確認については、私も現場に行って確認するようにしています。その中で貧困と思われる方も参加はされているように思います。</p>
委 員	貧困という言葉が出てしまうと、差別になってしまいます。
事務局	子ども食堂には定義がありますが、どうしてもそういった問題が出てくるので、現在、実施していただいている方々は、虹色食堂という名前で、色々なところとの懸け橋になりたいという意味を込めていただいています。
委 員	利用者は増えているのでしょうか。
事務局	増加傾向にありますが、食材の関係もあるため、50人を定員にしています。
委 員	コミュニケーションの場としては良いところだと思います。
委 員	2か月に1回は少ないように思います。
委 員	子ども食堂の取り組み内容の中に、「活動を支援します」とありますが、具体的にどのような支援をしているのでしょうか。
事務局	広報紙によるお知らせ、学校への案内チラシの配布、団体代表者の食材等の支援者探しに同行、情報提供等を実施しています。
委 員	細かいことで申し訳ありませんが、83ページ以降の「今後の方向性の文章」と「量の見込みの表」の間が離れすぎているように思います。
事務局	レイアウトを修正させていただきます。
委 員	2号認定の教育ニーズとはどういうことなのでしょう。教育ニーズへの対応は、豊山町内の保育園では売りになるようなことを今後展開していくのでしょうか。

	<p>少子化の中で、子どもがたくさんいる元気な街ということアピールするためには、こういった事業を進めていくのも良いのではと思います。</p>
事務局	<p>2号認定の教育ニーズとは、保育園を利用しているが、幼稚園の教育プログラムに関心のある方のことです。</p> <p>例えば、認定こども園の場合、幼保連携型という教育と保育を一体的に実施する施設があります。このような施設の場合、両方の保護者ニーズに対応することができます。教育ニーズが高い場合は、既存の保育園を認定こども園に移行すべきかを検討していくことになります。</p> <p>豊山町で実施している教育的プログラムとしては、青山保育園で英語教育をやっていた時期がありました。今は英語教育の先生が帰国された関係で実施できていません。指定管理者の榊椽会には、英語教育の先生を雇用していただき、再開できるように働き掛けをしています。</p>
委員	<p>青山保育園で行っていた、富士保育園には無いとなると、豊山町内でバラバラな感じがします。</p>
事務局	<p>バランスが取れていない部分はありますので、今後の検討課題です。</p>
委員	<p>量の見込みについて、教育ニーズが強い2号認定はどのように出されたのですか。</p>
コンサル業者	<p>全体に言えることですが、本年度に実施したアンケート調査を基に、国がアンケート調査結果を用いてこのように量の見込みを算出するようといった手引きに沿って算出しています。</p> <p>81ページにフローを載せています。78ページにある家庭類型も関わってきます。人口推計についても、量の見込みの算出のために必要なことで、事業の対象である0～11歳は確実に行う必要があります。</p> <p>アンケートの中の親が就労していますかという設問の回答を用いて、家庭類型を算出し、家庭類型別に推計児童が何人いるのかを算定します。</p> <p>更に、アンケートの中の事業の利用希望の割合を算出し、掛け合わせることで量の見込みを算出します。</p> <p>ただ、計算した数字は実績から離れてしまうことが多く、事務局に見ていただいた上で実態に合わせてご検討いただいたものになります。</p> <p>アンケート調査結果から算出した数字を出した上で、事務局に投げかけたという形になります。</p>
委員	<p>どの設問があてはまるのでしょうか。</p>
コンサル業者	<p>家庭類型については、親の就労状況ですが、父親はフルタイムで働いていることがある程度前提になるため、特に母親の就労状況を見て、今働いているかどうかから現在の家庭類型を、また、今後働きたいかどうか等も加味して潜在的な家庭類型を算定します。</p> <p>「利用している、していないに関わらず、今後どの事業を使いたいですか」という設問があったかと思いますが、この回答結果を用いています。</p> <p>また、地域子育て支援拠点事業の利用状況や、「お子様が病気の時に通常の保育事業を使えなかったことがありましたか」の設問から病児・病後児保育のニーズを算定しています。</p>

	<p>ファミリー・サポート・センターでは、国が想定しているのは就学児の利用希望になりますが、これは5歳児以上の方を対象に、「小学校就学後に放課後どこで過ごさせたいですか」の設問の中でファミリー・サポート・センターと回答された方の割合を用いています。</p> <p>回答が0%だったため、その影響でニーズもゼロとなっていると思います。就学児のみを見たらゼロですが、未就学児を含む全体の利用を見るとご利用されている方も多くいらっしゃいます。そのため、今後の見込みについては就学児だけではなく、未就学児を含む全体の見込みについても掲載しています。</p>
委員	2号認定の教育ニーズは、就学児が関係してくるのですか。
コンサル業者	<p>教育ニーズと保育ニーズは未就学児を対象としています。</p> <p>その中で、国の方では2号認定のような保育利用者でも教育ニーズはあり得る、逆に1号認定でも保育ニーズはあるかもしれないということを前提に量の見込みや確保方策を定める必要があるとしています。</p> <p>アンケート調査結果を用いた手引きでは、あくまでも機械的に算出しています。その上で、その数字を見てどうするかは自治体の実態に沿った形になります。</p>
委員	<p>24人は少ないように感じました。私も保育園に預けていましたが、教育もしてくれるのならばやってほしいという方も多いと思います。</p> <p>そういった算出方法に沿って算出されているのであれば仕方ないですが、実際に見込みとして出されると、すごく低いような印象があります。</p>
委員	アンケートの時に、無償化されたら教育・保育事業を利用しますかといった設問もありましたが、それも加味されているのでしょうか。
コンサル業者	反映した上での数字となります。
委員	<p>私が利用していた保育園では幼稚園のような場所で、英語を教えてくれたり、音楽の授業もあったりしていました。</p> <p>当事者が違いやニーズをうまく表現できないのではないかと思います。</p>
委員	<p>事情として保育園に預けている母親が、幼稚園の時間帯に迎えに行けないということもあると思います。</p> <p>無償化されたら幼稚園に行けるかといえば行けるわけではないですが、教育を受けたいという希望はあると思います。</p>
委員	私は保育園に子どもを預けているので、他の母親とアンケートの話をしました。結局何になるのかとよく分からないまま答えている方や、アンケートに希望を書いても反映されるか分からないという希望的観測をせず今の状況を見て答えている方がいらっしゃいました。
事務局	指針が変わり、保育園でも教育の時間を確保しようということが始まっています。同じように幼稚園でも保育を取り入れましょうということで、幼稚園にいても保育園にいても同じ教育・保育を受けられるようにという指針が始まりました。そのため、本町の保育園でも遊びの中で教育を取り入れています。
委員	保育園も変わっていくということですね。

事務局	そうです。どこにいても子どもたちが同じ内容を受けられるようにという指針になっています。
委員	言葉の問題なのですが、71・72ページの「となります」は「予想されます」に、84ページ以降の「量の見込みを確保できる見込みです」は「量の見込みを確保できる見通しです」に修正した方が良いと思います。
コンサル業者	修正させていただきます。
会長	色々な意見をありがとうございました。 次第の2(1)「第2期子ども・子育て支援事業計画案について」は、終わります。
会長	続きまして、次第の2(2)「パブリックコメントの実施について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	資料2に沿って説明
会長	説明が終わりました。委員の皆さんからご意見・ご質問がありましたら、いただきたいと思います。
会長	委員の皆さんのご意見等もないようですので、次第の2(2)「パブリックコメントの実施について」は、終わります。
会長	次に次第の2(3)「その他」について事務局から何かあればお願いします。
事務局	特にありません。
会長	他に委員の皆さんから何か、ございますか。 意見なしの声 本日予定しておりました議題については、全て終了しました。 以上をもちまして、令和元年度第3回豊山町子ども・子育て会議を終了させていただきます。 ご協力ありがとうございました。
司会	中西会長、ありがとうございました。 委員の皆様におかれましては、長時間にわたりご審議をいただきまして、ありがとうございました。 次回の会議は、来年の2月に予定しています。次回で今年度は、最後の会議となりますのでよろしくお願いいたします。 開催日等につきましては、改めて文書にてご案内させていただきますので、よろしくお願いいたします。

7 その他

上記のとおり、令和元年度第3回豊山町子ども・子育て会議の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及び出席者2名が署名する。

令和2年1月17日

会長 中西 正司

署名人 山本 佐知子

署名人 坪井 貞子